

可茂会 後援会報

第24号

2016.12.17

発行

社会福祉法人
可茂会 後援会
可児市瀬田1648の9
発行者 前島 宗直
TEL 0574-64-3366



生け花・茶道クラブ活動のようす

花と緑とからくり時計の

可茂学園

会員の皆様へ

可茂会後援会会長 前島 宗直



がとうございます。

今年度は、資源回収活動に取り組みました。皆様方のご協力により順調に実績を上げることができました。また、健康フェア可児のバザーには、沢山の品物を提供していただき、販売できました。これらの収益金は、後援会活動資金として有効に使わせていただきます。本当にありがとうございます。

さて、昨今のテレビ、新聞を見ると高齢者ドライバーによる交通事故のニュースが毎日のように伝えられています。高齢者層が年々増しているものの尊い命を奪つ

会員の皆様には、後援会活動にご支援、ご協力を賜り誠にあり

事故は避けたいものです。誰でも年を取れば視力や注意力、運動能力が鈍ってきます。高齢者ドライバーの交通事故の主なものは、ブレーキとアクセルの操作ミス、認知機能の低下による信号の見落としや左右の確認ミスによるものといわれています。入所利用者の保護者の大半は、高齢者ドライバーです。又、通所保護者の方々は毎日のように送迎で車を使用されています。くれぐれも安全運転に徹してください。保護者の高齢化が進み、先月までは保護者会に顔を見せていた保護者の方が見えない「どこかされたか?」と、とても心配になります。そして、親が子供の面倒を見れなくなったとき、その家庭環境は大きく変化します。その時は、いつの日か訪れます。可茂学園は、利用者、保護者

資源回収活動を始めました

後援会では平成二十八年度から資源回収活動を始めました。

皆様のご協力により順調に売り上げを伸ばすことができます。



にとつて、とても必要な施設なのです。保護者だけでは、できない親睦旅行や一日外出、餅つき等…その他の多くの取り組みに対し、本当に感謝しています。併せて来年四月には、三ツ池ホームの横に男性用のグループホームが完成します。共同生活をする中で一人ひとりが自覚を持つて行動する場となるでしょう。可茂学園の維持、存続と職員、利用者のより良い環境作りのために、みなで力を合わせて頑張りましょう。

最後になりましたが、会員皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

■ 資源回収売上実績

平成28年12月1日現在

実施日	平成28年 1月9日	4月9日	5月7日	6月14日	8月9日	9月17日	合 計
売 上	4,200	4,380	3,790	6,030	6,860	8,800	34,060
可児市 奨励金		2,520	1,040	1,720	1,520	2,120	8,920
合 計	4,200	6,900	4,830	7,750	8,380	10,920	42,980

【回収品目】

アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌

※スチール缶、ペットボトル、ビンは回収しておりません。

後援会報に寄せて

可茂学園 園長 日比野 邦彦



早いもので
平成二十八年
の師走を迎え
ました。思い
起せば今年

も様々な出来事がありました。イギリスのEU離脱、リオデジャネイロオリンピック、パラリンピックの開催、国内ではオバマ大統領の広島訪問、熊本地震の発生、小池東京都知事の誕生。そして記憶に新しいところでは共和党のトランプ氏の勝利などです。

しかしながら私たちにとって特に衝撃的な出来事は、神奈川県相模原市の津久井やまゆり園の入所者殺傷事件です。犯人が元職員であったということに驚くとともに、その犯人の思想は到底受け入れることができないものでした。入所施設にとってこの事件の影響

は極めて大きく、その対応に苦慮しているところですが、一方ではこの事件で亡くなられた方が実名報道されなかったことの配慮や、出生前診断による中絶など、改めて障がい者理解をめぐる社会の成熟度が試される中で、きつちりとした議論がされない状況にあるのも問題の複雑さや課題の大きさを表していると思います。

さて、福祉分野では平成二十八年三月に社会福祉法の改正がありました。この改正の背景には、障がい福祉の分野にも規制緩和が導入され、従来は社会福祉法人が独占的に担っていた障がい福祉サービスの提供がNPO法人はもちろんのこと、株式会社も参入しそのサービス提供が可能となりました。その中で、社会福祉法人のみが補助金や非課税措置などの財政

上の優遇措置を受けているにもかかわらず社会貢献の取り組みが不十分であることの指摘や、一部の社会福祉法人による過大な内部留保や運営の私物化などが批判されています。今回の社会福祉制度改正の基本的な視点は、「公益性・非営利性の徹底」「国民に対する説明責任」「地域社会への貢献」です。可茂学園でも、ホームページ上で現況報告書や財務諸表、定款などの情報公開を行い、更なる「地域における公益的な取り組み」の検討や経営組織のガバナンスの強化に取り組んでいます。

社会福祉法人「可茂会」可茂学園は、本当に多くの皆様の貴重な浄財により開設された施設です。そして、当たり前のことですが社会福祉法人「可茂会」は誰の物でもありません。強いて言えば、利用される皆様や地域の財産でなければなりません。今後も利用者の皆様や地域の福祉ニーズを的確に捉えながら、法人「可茂会」としてできることを真摯に取り組んで

行く思いです。

結びになりますが、可茂会後援会の日頃のご支援に心より感謝申し上げますと共に、来年も健やかで穏やかな一年となりますことをご祈念申し上げます「後援会報」とさせていただきます。

もちつき

十二月十四日、小山寺様、花園会様、(株)ライン様、保護者ボランティアの皆様のご協力によりもちつきを開催しました。青空の下、威勢の良い掛け声に合わせて元氣よくお餅をつきました。つきたてのお餅の味は格別で、皆さん「おいしい」と笑顔でおかわりをしていました。



手をつなぐ育成会

東海北陸大会に参加して

前田 千賀子

十月十五日、手をつなぐ育成会東海北陸大会岐阜大会第7分科会「つづれい」に参加しました。親亡きあとの障害者のライフ（人生、生活、命）のため、親は自分の生存中である今のうちに準備をしておくようにと具体例を示した話がありました。

これらを聞きながら思ったのは、障害者が高齢になったとき、介護保険の介護給付が自立支援給付に優先することを何回も聞いて

いますが、自分にはイメージできていません。他にも、「後見制度」も消化しきれていないし、「障害者差別解消法」や「意志決定支援」あるいは「生命保険信託」「特宅贈与信託」なども実は分からないまま聞いていました。

単純に、たとえば知的障害者は老化が早くて五十五歳で認知症らしい症状が出たとして、それが障害なのか認知症なのか判別できる

のでしょうか。認知症と判断されてしまうと介護保険サービスを使うことになるのでしょうか。そうすると可茂学園は退去しなければいけないのでしょうか。また今後は老人施設が満床だったり、息子が五十五歳のとき、親の私が認知症ということもあるかも……と心配してもきりがなかったばかりです。育成会の会合に何度か参加して、入所施設は否定的に扱わ

れ、そこに暮らす障害者も微妙な存在になっています。しかし、地域で暮らしたい障害者がいるように、施設を必要としている障害者とその親もいるのです。現在の国の方針には逆らえませんが、施設が存在する意義を声高に訴えなければいけません。私たちにとって良い施設とは、一番目は安全であること、二番目は居心地の良いこと、三番目はなんとなく楽しいこと。可茂学園もそういう施設だと良いと思っています。生き残るために皆さん無理のない範囲で頑張らしましょう。

健康フェア可児に参加して

伊藤 敦子

十月十六日に可児市文化創造センターで開催された健康フェア可児に参加してきました。前日に皆さんから頂いたバザーの商品に、値札を貼る作業から始まりました。たくさん品物が集まりびつくりしました。

当日は品物を並べているときからお客様が来られて、開店時間が早くなりました。毎年楽しみにされているお客様が多く大盛況でした。麦の丘のパンも一時間ほどで完売しました。昨年より数が多かったようですが、ちょうどお昼



前で昼食にされているお客様が多かったです。来年はもっと数を増やしてもいいかなと思います。

私は初めての参加でしたが、役員の皆さんをはじめいろいろな人とお話ができてとても楽しい一日になりました。品物を提供して下さった皆様ありがとうございました。また、来年もよろしく願います。役員、職員の皆さんお疲れ様でした。

親睦旅行



富山コースに参加して

柘植 和廣

十月二十九日は曇り空でした。子供と久しぶりの旅行です。子供の成長を楽しみにしていました。どんな旅行になるのかワクワクな気持ちでした。到着先も雨が降ることもなく、本当に良かったと思っています。旅先で、ある一面だけ子供を見て少し成長したかなあと思いました。また、

精神的に落ち着いてくれたら安心です。無事に帰ってこれたのも職員の方々のおかげです。次回の親睦旅行を楽しみにしています。

富山コースに参加して

伏屋 公博

晴天とはいかないまでも何とか天候も持ち、保護者の皆さんのご協力もあり、無事日程を終えることができました。富山での昼食（柿の庄）は海鮮料理を頂きました。天然のいけすと言われる富山湾の近くだけあって魚がとても新鮮で皆さん満足された様子でした。午後からは海の貴婦人と称される大型帆船「海王丸」を見学しました。風が強く少し肌寒くはありましたが、とても見ごたえのあるものでした。その後はきときと市場でお買い物をしてきました。盛りだくさんの内容でしたが、皆さんの思い出に残る親睦旅行になっていれば幸いです。

信州コースに参加して

千葉 明美

十一月五日、信州方面コースに家族三人で参加しました。今年で親睦旅行に参加するのも五回目になり、毎年楽しみにしています。

当日は天候にも恵まれ青空が広がり、バスの窓から遠くの雪山や富士山を見ることができました。バスガイドさんが富士山は年に百日ほどしか見ることができないと言われ、天候に恵まれてよかったなと思いました。

昼食会場の車山高原スカイパークホテルに着くとホテルの方が旗を振って出迎えてくれました。一五〇gの信州牛肉を美味しくいただきました。その後、蓼科高原チーズケーキ工房で寒天とケーキの試食をして買い物をしました。次に三時三〇分噴湯の間欠泉見学に向かいました。諏訪湖では白鳥や亀の形をした遊覧船を見ることができました。途中で時間に間に合つか心配しましたが、無事に五



メートルほどの高さの噴湯を見ることができよかったです。今年も楽しく過ごすことができました。これからも旅行に参加して保護者の方や職員の方とも親睦を深めていきたいと思えます。



平成27年度 社会福祉法人可茂会後援会決算書

収入の部				
(単位：円)				
科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会費	1,570,000	1,593,000	23,000	
特別会費	90,000	90,000	0	30,000円×3口
正会費	1,200,000	1,200,000	0	10,000円×120口
育成会費	180,000	186,000	6,000	3,000円×62口
賛助会費	100,000	117,000	17,000	1,000円×117口
2. 雑収入	35,000	48,980	13,980	バザーの売上等
3. 利息	0	0	0	
4. 前期繰越金	76,929	76,929	0	
合計	1,681,929	1,718,909	36,980	

支出の部				
(単位：円)				
科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会議費	20,000	13,089	-6,911	弁当代等
2. 事務費	600,000	584,252	-15,748	
通信費	10,000	5,216	-4,784	切手代
印刷製本費	100,000	94,500	-5,500	会報印刷代
事務消耗品費	10,000	4,536	-5,464	コピー用紙代
施設整備費	430,000	430,000	0	車椅子(東武鉄道)三ツ池ホーム設置
雑費	50,000	50,000	0	春祭り協賛金
3. 振込手数料	3,000	1,360	-1,640	郵便振替手数料
4. 積立金	1,058,929	1,000,000	-58,929	施設整備積立金
合計	1,681,929	1,598,701	-83,228	

収入総額 1,718,909円
 支出総額 1,598,701円
 収支差額 120,208円 (次期繰越)

監査報告書

平成27年度の可茂会後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。
 よって適正であることを認め報告致します。

平成28年3月12日

可茂会後援会
 会長 前島 宗直様

監査委員

小 椋 捷夫
 栗畑直喜

特別会計報告書 施設設備積立金

	収入	支出	残高
平成23年度積立金(郵便局定額預金)	244,000		10,000,000
マイクロバス寄附(24.10.10)		6,900,000	3,100,000
マイクロバスのスタッドレスタイヤ寄附(24.11.30)		288,000	2,812,000
平成24年度積立金(郵便局定額預金)	2,490,000		5,302,000
平成25年度積立金(郵便局定額預金)	1,400,000		6,702,000
平成26年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		7,702,000
平成27年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		8,702,000

社会福祉法人可茂会
 後援会総会報告

平成二十八年四月九日(土)
 (於可茂学園福祉センター)

- 一、開会の言葉
- 二、会長挨拶
- 三、園長挨拶
- 四、議長選出
- 五、議事 I
- (二)平成二十七年後援会事業報告について

- (二)平成二十七年後援会決算報告について
- (三)平成二十七年後援会特別会計報告について
- (四)平成二十七年後援会監査報告
- 六、議事 II
- (二)平成二十八年度後援会事業計画(案)について
- (二)平成二十八年度後援会予算(案)について
- (三)平成二十八年度後援会役員の紹介

七、閉会の言葉
 平成二十七年
 事業報告

- 平成二十七年四月十一日(土)
 可茂会後援会総会
- 平成二十六年事業報告
 - 平成二十六年決算報告と承認
 - 監査報告
 - 平成二十七年事業計画(案)承認
 - 平成二十七年予算(案)承認

- 平成二十七年六月十三日(土) 可茂会後援会役員会
- 平成二十七年六月十七日(水) 後援会会員の業者訪問
- 平成二十七年七月十一日(土) 可茂会後援会役員会
- 平成二十七年九月十二日(土) 可茂会後援会役員会
- 平成二十七年十月十八日(日) 可児市健康フェアへ参加
- バザー(売上金四八、九八〇円)
- 平成二十七年十一月十四日(土) 可茂会後援会役員会
- 平成二十七年十二月一日(火) 可茂会後援会会報の発行
- (二十三号 四〇〇部)
- 平成二十七年十二月十二日(土) 可茂会後援会役員会
- 平成二十八年一月十三日(土) 可茂会後援会役員会
- 平成二十八年三月十二日(土) 可茂会後援会役員会
- 可茂会後援会監事監査
- 平成二十七年後援会加入状況について
- 平成二十七年後援会報告について
- 平成二十八年度事業計画(案)について
- 平成二十八年度予算(案)について
- 平成二十八年度後援会役員(案)について
- 平成二十八年度の総会の打ち合わせ

平成二十八年年度 事業計画

【基本方針】

社会福祉法人可茂会は、利用者の個人の尊厳を保持しつつ地域社会において自立した生活を営むことが出来るよう支援することを基本理念として設置されました。開設以来、可茂会「後援会」をはじめとして多くの皆様の温かいご理解

解とご支援に支えられ、順調に施設整備の拡充を図ってまいりました。

近年は社会福祉法人に対する補助についても見直しがなされ、従来にも増して公的助成が厳しくなることが予想されます。

今後は利用者の重度化、高齢化に伴う施設整備が必要となります。そのための整備の資金作りの援助を目的とします。

平成28年度 社会福祉法人可茂会後援会予算

収入の部				
(単位：円)				
科 目	27年度予算	28年度予算	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,570,000	1,570,000	0	
特 別 会 員	90,000	90,000	0	30,000円×3口
正 会 員	1,200,000	1,200,000	0	10,000円×120口
育 成 会 員	180,000	180,000	0	3,000円×60口
賛 助 会 員	100,000	100,000	0	1,000円×100口
2. 雑 収 入	35,000	35,000	0	バザーの売上
3. 前 期 繰 越 金	76,929	120,208	43,279	
合 計	1,681,929	1,725,208	43,279	

支出の部				
(単位：円)				
科 目	27年度予算	28年度予算	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	20,000	20,000	0	
2. 事 務 費	600,000	600,000	0	
通 信 費	10,000	10,000	0	切手代
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0	会報印刷費
事務消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙代等
施設整備費	430,000	430,000	0	朝日(朝日) (三ツ池木)
雑 費	50,000	50,000	0	春祭り協賛金
3. 振 込 手 数 料	3,000	3,000	0	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,058,929	1,102,208	43,279	施設整備積立金
合 計	1,681,929	1,725,208	43,279	

【重点目標】

一 組織強化活動

① 会員の拡大

(平成二十八年年度目標)

特別会員： 三〇

正会員： 一、二〇〇

育成会員： 六〇〇

賛助会員： 一、〇〇〇

② 情報の収集と提供、広報活動の推進

③ 会員相互の連携と協同活動の促進

二 各種会議の開催

① 総会の開催 年一回
四月九日(土)午前十時

② 役員会の開催 年九回

③ 監事会の開催 年一回
三月十一日(土)午後一時

三 調査、広報活動

① 後援会会報の発行 年一回

② 会員拡大に必要な広報活動

可茂会後援会にご加入を

年間会費

特別会員 一〇 三万円
正会員 一〇 一万円
育成会員 一〇 三千円
賛助会員 一〇 一千円

皆さんで、可茂学園施設整備資金確保に向かつて、新会員の加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局
TEL 六四・三三六六

可児市文化創造センターで、10月16日(日)に開催されました『健康フェア可児』でバザーを行いました。売上金は50,390円でした。皆さんのご協力ありがとうございました。

平成二十八年年度

可茂会後援会役員

会長 前島 宗直
副会長 加藤 政博
理事 加藤 敏明
理事 酒向 清治
理事 伊藤 貞行
理事 梅田 寛美
監事 小椋 捷夫
監事 栗畑 直喜

③ 可児市健康フェアへの参加(バザー) 十月十六日(日)

④ 資源回収とその啓発活動

四 施設整備の助成事業

① 可茂学園園舎、麦の丘、三ツ池木

一ム周辺の環境整備(業務委託)

五 法人運営費の助成事業

① 施設整備積立金へ積み立てる

平成二十八年年度

後援会員名簿

= 敬称略 =

特別会員

〔二〇〕 吉田整備

(株) 濃飛葬祭

JICセントラル

正会員

〔五〇〕 (株) 三宅設計

エース薬局広見店

〔三〇〕 前島 宗直

長瀬 邦夫

〔二〇〕 山本 孝盛 宮川 春子

村瀬 正樹

〔二〇〕 小境電気工事

(株) 新興設備

(有) 中部フロンパン瓦斯商会

ミズノ観光(株)

(有) フェニックス

可児市建設業協同組合

ヘアサロン鈴木

堀井 幸一 一瀬 節江

菅井 省二 森 鉄雄

可児 薫 渡辺 淳

小川 和正 大崎 俊昭

安江 公男 高木 洋一

日比野重夫 齊藤 道夫

酒向 清治 伊賀 光邦

堀井 泰弘

宇野 剛由

藤野 和彦

近藤なみ子

小島 孝三

半澤 哲男

後藤 邦久

損斐 好久

育成会員

〔二〇〕 加藤 孝子

川村 雅哉

〔二〇〕 加藤 紀子

齊藤みはる

柴畑 靖紀

加藤 幸子

宮川 隆

長谷川伸二

河合 政也

藤野三津子

酒向三保子

柴畑千代美

石坂 紀子

山田多美恵

遠藤八重子

柴畑 澄子

加藤 恭子

玉井美世子

奥田 智恵

前田千賀子

吉田 健治

山田 順子

曾木登美子

柴畑 直喜

安江 均

道家 義昭

加藤 敏明

藤田 秀子

畑尻 都

上田 重博

伊藤 貞行

山田十九夫

舛中 一彦

日比野恭治

佐々 立夫

安藤 千秋

竹原 孝

内藤 寛子

古田 和子

中原 健二

花井 一彦

亀貝 進

長谷川紀子

加治木龍仁

鍵谷美智代

河合 進

小椋 捷夫

加藤 高史

宮口 信久

荻山百合子

余語 潤一

千葉 進

宮川 巖

秋元 進

小川 裕一

高木 武典

山内 千司

島尻 勇人

白川 彰美

石原 福美

中西 敦子

市川 尚幸

加藤 宣夫

前島三枝子

近藤 善守

長瀬 洋子

加藤 政博

梅田 實美

可児 鋪雄

山口 優子

玉井 伸二

山岡 郁穂

四之宮賢治

狩川 正光

小川 和則

馬場 忠外

谷口 義晴

日比野邦彦

村山 将博

和下 開

柘植 和廣

堀 智子

渡辺須磨子

賛助会員

〔五〇〕 小島九十男

加藤寿之夫

大嶋 久興

伊藤 正和

〔二〇〕 酒向 陽子

井藤三千子

〔二〇〕 長瀬 寿

渡辺美知夫

長瀬 京子

高瀬 良子

村上 美幸

清水恵三子

廣野 里子

今井 初子

長尾 和子

小栗 意夫

渡辺 浩英

塚本 幸治

伏屋 公博

和田 雄樹

原 和也

丸山 雅

尾関 友香

永井 香帆

小倉 莉紗

兼子 雅代

川合圭伊子

武藤 行子

谷口 里子

伊藤 克人

加藤 拓男

山口 智也

伊藤 博人

川合 哲也

加納 学

藤原明日香

矢嶋里佳子

小嶋ゆづこ

松原 裕子

前島恵津子

飯島 明美

佐々美佐子

堀田 泰史

池田 雄亮

額額 久也

丸山 豊

高橋 将也

丸木 遼

平林なつみ

市橋 香奈

安田有里菜

永瀬 和子

伊藤 和代

大利 亜希

杉山 洋志

山田 輝世

大野 率子

(株) セイコー

梅田 早苗

大前 貞子

原科 久子

尾関 英治

石井 佳子

田中真由美

水野 信子

熊谷 恵子

可児 伸子

(平成二十八年十一月末日現在)